

授業科目名 ( 英文名 )	日本語・日本文化 1 (Japanese(Language and Culture)1)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	タマシ カルメン	所属	国際商経学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	現代の日本社会・日本文化の知識を高めながら、日本語能力、特に読解、語彙、アカデミックな場面で発表する技術を強化することを目標とする。この授業で、教室だけではなく、日常的な会話と場面で正確な日本語を使えるようになり、表現能力を強化できるようにする。		
講義内容・授業計画	<p>A.講義内容 毎回のテーマについて文章を読み、グループでディスカッションして、現代の日本社会・文化に於ける重要なトピックを取り上げる。学生が資料の検索、収集と発表のやり方を学習する。</p> <p>B.授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ガイダンス</li> <li>2.アカデミックな言語・発表の仕方</li> <li>3.発表の仕方Ⅱ（日本の伝統的な文化）</li> <li>4.資料の収集方法（日本の伝統的な文化）</li> <li>5.間違いやすい文法</li> <li>6.間違いやすい文法</li> <li>7.中間テスト</li> <li>8.データの活用のしかたⅠ（日本の食文化）</li> <li>9.データの活用のしかたⅡ（現在社会の問題）</li> <li>10.発表の構成Ⅰ（現在社会の儀礼）</li> <li>11.発表の構成Ⅱ（現在社会の儀礼）</li> <li>12.論理的な意見の述べ方（日本の人間関係）</li> <li>13.論理的な議論のしかた</li> <li>14.復習・最終発表</li> <li>15.最終発表</li> </ol>		
テキスト	授業で配布する資料		
参考文献	授業で紹介		
成績評価の基準・方法	平常点（授業での課題と出席）[30%]、中間テスト[30%]、最終発表[40%]を総合して評価する		
履修上の注意・履修要件	留学生、または、日本語を第一言語として習得しなかった人を対象とする。主として1年生を対象とするので、できるだけ1年生で履修すること。授業は実践演習なので、出席が重視される。十分な予習・復習を行うこと。		
実践的教育	該当しない		
備考			